

長久手市行政評価票（A票：事業評価票）

事業番号	66	事業名	火災予防組織育成事業	担当部課	消防本部 予防課
------	----	-----	------------	------	----------

基本情報	総合計画	基本方針	3	人がいきいきとつながるまち			
		分野別項目	10	住民を守る消防・救急サービスを充実する			
		施策の進め方	3	火災予防対策の推進			
	まちづくり 行程表	フラッグ	—				
		政策分類	—				

事業目的等	事業内容	(どのような事業なのか) 消防本部予防課が所管する火災予防組織の育成指導を行う。 ・幼少年期の火災予防思想の動機付けを図るため愛知県消防学校一日体験入校への参加を行う。 ・火災予防啓発のため、市防火作品展を行う。				
	事業対象	(誰、何を対象にしているか) 市内小学校に通う5、6年生				
	事業意図	(対象をどのような状態にしたいか) 参加者だけでなく、参加者を通じて各家庭への火災に対する意識の高揚を図り、火災発生を抑止につなげる。				
	事業を 構成する 事務事業	① 少年消防クラブ事務事業	継続	④		
	②		⑤			
	③		⑥			

コスト推移	項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
	事業費(A)	千円		予算			
決算							51
人件費(B)	千円		決算				1,757
総コスト(A)+(B)	千円		決算				1,808

成果推移	成果指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	A 全対象児童のうち、応募した児童の割合	%	目標	35	35	35	35	
			実績	33	29	29	36	
	B		目標					
			実績					
	C		目標					
実績								
【指標の説明】(指標の設定根拠、数値目標の設定根拠など)								
A 防火作品展に応募作品について、市内の小学校に通う5、6年生の3分の1以上の応募を目標としている。								
B								
C								

環境変化	他市町での取組状況や事業を取り巻く環境変化	(他市町における同様の取組での特徴的な点、制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など) 瀬戸市、尾張旭市、豊明市、尾三消防本部(日進市、みよし市、東郷町)の何れの団体においても類似した事業を実施している。
------	-----------------------	--

評価	目標達成状況	(成果指標等の目標に対する達成状況や進捗状況など) 平成24年度から新規事業として組織を立ち上げ、防火・防災意識の向上を図っており、参加する学校等からは好感触を得ている。
	事務事業全体を見た課題	(構成している事務事業それぞれの評価を踏まえ、全体的な課題を整理) 火災予防育成組織へ参加する児童の関心度を高めるために全応募作品展、市内事業所への入賞作品展等の事業を実施してきたところではあるが、それらも軌道に乗りつつあるので、事業のマンネリ化、硬直化を防ぐ必要がある。

今後の方向性	(事業の成果を高めるための事務事業の方向性) 消防本部予防課が所管する火災予防組織を少年期のみにとどまらず、現在保育園で実施するキャラバン事業を拡充させ幼年期における火災予防思想の動機付けを推進する。
--------	---

長久手市行政評価票 (B票：事務事業評価票)

事業名	火災予防組織育成事業									
-----	------------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

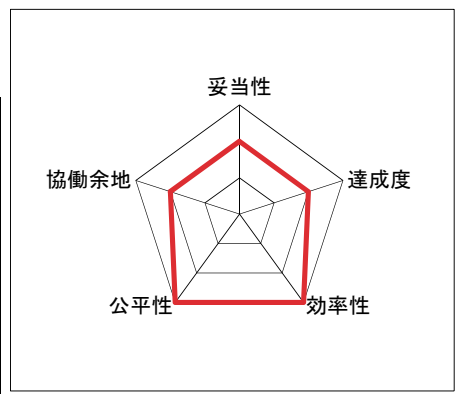
番号	①	事務事業名	少年消防クラブ事務事業								
----	---	-------	-------------	--	--	--	--	--	--	--	--

1. 事務事業の目的

対象・手段	(誰、何に対し、何をどのように実施しているのか) 市内小学校に通う5・6年生を対象に愛知県消防学校が行う消防学校一日体験入校及び市防火作品募集(作品展含む。)を実施しています。
意図	(対象をどのような状態にしたいか) 青少年を介して家庭への防火を推進し、学校内における火災の低減を図り、将来の地域防災の担い手となるようにする。

5. 評価

項目	評価
妥当性	2
達成度	2
効率性	3
公平性	3
協働余地	2



2. コスト推移

項目	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度
事業費	千円	予算	/	/	/	78
		決算	/	/	/	51

6. 今後の方向性

継続

3. 活動推移

活動指標	単位	区分	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
全対象児童のうち、応募した児童の割合	%	目標	35	35	35	35	
		実績	33	29	29	36	
		目標					
		実績					

【コメント】

(改善の方法、今後の具体的展開など)

現行どおり実施  
平成26年度より全校から防火作品の応募があったことから、今後はより多くの児童が火災予防に関心が持てるような取組を行う。  
(平成26年度より消防職員への防火作品募集・展示の実施)

4. 事務事業を取り巻く環境変化

(制度の変更、ニーズの変化、技術の変化など)

H23度: モデル事業の実施、一日体験入校への参加(長小のみ)  
H24度: 市少年消防クラブ設置、市防火作品展の実施(全作品展示)  
全国少年消防クラブ運営指導協議会愛知県支部登録